

総合工学委員会・総合工学企画分科会（第24期・第5回）
議事メモ

日 時： 令和2年3月12日（木） 10:00-12:00

場 所： 日本学術会議5階 5-C（1）会議室

出席者：

吉村忍委員長（東京大学）、大倉典子副委員長（芝浦工業大学）、小山田耕二幹事（京都大学）、所千晴幹事（早稲田大学）、筑本知子（中部大学）、中野義昭（東京大学）、波多野睦子（東京工業大学）、松尾由賀利（法政大学）、渡辺美代子（科学技術振興機構）、荒川泰彦（東京大学）、岸本喜久雄（東京工業大学）、榎木哲夫（京都大学）、柴田徳思（千代田テクノ大洗研究所）、塚原健一（九州大学）、永井正夫（日本自動車研究所）、原辰次（中央大学）、萩原一郎（明治大学）、矢川元基（原子力安全研究協会）

議 事：

1) 配布資料および前回議事要旨の確認

吉村委員長より、資料1-1に基づき令和元年7月19日開催の第24期第4回総合工学企画分科会議事要旨が紹介され、承認された。また、資料1-2に基づき令和元年10月18日開催の第24期第3回総合工学委員会議事要旨が紹介された。

2) 「総合工学シンポジウム2020」状況報告

吉村委員長より、資料2に基づき、3月12日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮し中止された「総合工学シンポジウム2020」について紹介された。

3) 「『学術の動向』特集企画」報告

大倉副委員長より、資料3に基づき、開催予定であった「総合工学シンポジウム2020」での議論を記録に残すため、「学術の動向」に特集を企画していることが報告された。元来予定していたシンポジウム講演者と、さらに企業からの視点を加える2名へ執筆依頼をしたことが報告された。

4) 「日本学術会議提言可視化」進捗状況

小山田幹事より、資料4にもとづき、日本学術会議提言可視化の取り組み内容について報告があった。単語分散表現を用い、SDGsの17の目標との類似度について分析を行ったところ、第5次科学技術基本計画の文書は特定の3つの目標に集中していたのに対し、日本学術会議の提言は17の各ゴールにほぼ均等に分類されたことが報告された。

5) 「第24期総合工学委員会及び関連分科会の活動の記録」原稿審議

吉村委員長および所幹事より、資料5に基づき、とりまとめ中の記録の構成案が紹介された。今後、加筆修正を加え、第24期の記録として総合工学委員会から発信することが承認された。

6) 今後の予定

吉村委員長より、2020年6月または7月に記録の審議承認等を議題とした第4回総合工学委員会と第6回総合工学企画分科会の開催を検討していることが報告された。次回の総合工学企画分科会では、総合工学委員会内の分科会構成や、学術の動向での議論紹介等を議題とすることになった。

<配布資料>

- 資料1-1 総合工学企画分科会（24期・4回）議事要旨
- 資料1-2 総合工学委員会（24期・3回）議事要旨
- 資料2 「総合工学シンポジウム2020」チラシ
- 資料3 「学術の動向」特集企画
- 資料4 日本学術会議提言可視化の進捗状況
- 資料5 第24期総合工学委員会及び関連分科会の活動の記録（案）
- 資料6 今後の総合工学委員会・総合工学企画分科会活動予定